

預言アップデート
聖書預言の100%な正確性について・聖餐式2019.11.03

<https://www.youtube.com/watch?v=wW3hQuhJ6qs&t=1595s>

では、預言アップデートに行きましょう。もし、皆さんが少しでも私のようにであれば、そして私は、皆さんの多くがそうだろうと思いますが、今日の世界における世界規模の混乱状態に気づかざるを得ないと思います。世界中で起こっていることに目を向けると、世界が混迷と無秩序の状態にあるということに同意していただけたと思います。今、話している間にも、香港における状況は日ごとに悪化しているように思われます。抗議活動がたくさん起こっています。世界の至る所で、特に、ここアメリカでは、状況は本当に一日ごとに悪化しているように見えます。それが今日お話ししたいことです。具体的には、

[咳き込む] すみません。主よ、私の咳が邪魔にならないようにしてください。助けてください、主よ。感謝します。たいへんすみません。

私は、具体的に、神がいかに、その御言葉の中で、予告をされたかについて話したいと思います。これこそがまさに終わりの時に起こることであると。

聖書預言の中で私が最もエキサイティングな側面の一つだと思うものは何かと尋ねられたら、その答えは、神が未来を予告される正確さでしょう。実際に、100%の正確さです。99.9%ではありません。100%の精密度です。それは、私たちが、ある預言が偽りであるかどうかを測るためのはかりです。あるいは、預言者でも、偽預言者であるかどうかを測るものです。それが100%の正確さで起こらない場合は、偽預言者で、それゆえに、偽の預言となります。さて、私がこのことに言及する理由は、私たちが目にしている今日の世界で起こっていることすべてが、厳密に、100%の正確さで、終わりの時にはそうなるであろうと神が言われた通りだからです。主が戻って来られる前に。まずは、教会の携挙において。それから続いて7年後、再臨において。こんな風に言われます。携挙とはイエスが私たちが迎えに来られる時で、再臨とは、イエスが私たちと一緒に来られる時です。

「千万の聖徒を引き連れて」。主の花嫁として。皆さんにお付き合い頂ければ、皆さんには特に、マタイの福音書24章の預言に注目してもらいたいと思います。これは親しみを込めて、オリーブ山の説教と呼ばれるものです。イエスが弟子たちに語っておられるところで、第24章の第1節で彼らに言われます。

実際は、これはイエスが神殿を出て、立ち去っておられる時です。弟子たちがイエスのところにやって来て、神殿、その建物、およびその構造、その壮大な素晴らしさにイエスの気を引こうとしました。2節です。

「イエスは彼らに答えて言われた。『このすべての物に目をみはっているのでしょうか。』
イエスはそこにある神殿を指しておられます。「『まことに、あなたがたに告げます。』これはびっくりします。聞いてください。

マタイ24

2 「ここでは、石がくずされずに、積まれたまま残ることは決してありません。」

うわー！すごい具体的です。

マタイ24

3 イエスがオリーブ山ですわっておられると、弟子たちが、ひそかにみもとに来て言った。

「お話しください。いつ、そのようなことが起こるのでしょうか。あなたの来られる時や世の終わりには、どんな前兆があるのでしょうか。」

厳密には3つの質問ですが、形としては2つの質問に凝縮されています。彼らはイエスに尋ねています。

「あなたの戻って来られる時の前兆は何ですか？ それから、世の終わりの時の前兆は何ですか？」

4節におけるイエスの答えを聞いてください。

マタイ24

4そこで、イエスは彼らに答えて言われた。『人に惑わされないように気をつけなさい。

5わたしの名を名のる者が大ぜい現われ、「私こそキリストだ。」と言って、多くの人を惑わすでしょう。

6また、戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようにしなさい。これらは必ず起こることです。しかし、終わりが来たのではありません。

7民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、[それから、イエスはこう言われます] 方々にきぎんと地震が起こります。

8しかし、そのようなことはみな、産みの苦しみの初めなのです。

私がこの預言から始めたかった理由は、私たちが今、2,000数年後、時代を遡って、100%の正確さで、この預言の最初の部分が成就したのを見ることができるところからです。それは紀元70年、エルサレムが破られ、神殿が破壊された時に起こりました。神殿には大量の金がありました。火事のために、金が溶け始め、その金をとるために彼らはそれらの石を、取り除かなければならなかったと考えられています。金に到達するために。それはまさにイエスが言われた通りです。石はひとつも残りません。石を一つ残らず取って、投げ落とします。金を得るために。それは主が言われたとおりに起こりました。紀元70年です。なかなかの実績だなど思うかもしれません。イエス・キリストの初臨について、100%の正確さで成就した預言は300件以上あることを覚えておいてください。99.9ではなく、100%です。

キリストの初臨に関する300以上の預言のうちの、例えば、八つの預言でも成就する確率は、統計的に、その可能性は天文学的で計り知れず、思いも及びません。実際、1つありました。復活の日曜日にお話ししましたが、実際にピーター・ストーンという人、彼は数学者ですが、数学者は愛さなければいけませんよ。彼は実際に計算しようとしていました。一人の人間がこれらの預言の八つだけでも成就する確率は、どのくらいだろうかと。私はたぶん言い損なうでしょうが、我慢してください。なるべく簡単に言います。彼はそれをこのようになぞらえました。その確率は次のようなものです。

テキサス州に、1ドル硬貨を銀ドルを積み重ねます。どれくらいの高さかは覚えていませんが、テキサス州全体にです。その後、ある人を目隠しして、こう言います。

「あなたは、それらの1ドル硬貨の中から、正しいもの1枚を選ばなければなりません。」

1ドル硬貨は、テキサス州全体を一定の高さで覆っています。それが、たったの八つを成就する確率になります。八つです！ 私は「八つ」と言いましたか？

ですから、その特異性、その正確さ。イエスは続けて、今、終わりの時代にはどんな前兆があるかを説明されます。

今は2019年です。私たちが目撃したことは、イスラエルの国家としての再生、ユダヤ人の自分たちの土地への帰還。それから、私に言わせれば、本当に最終的なカウントダウンを始めたもの。それは1948年の5月14日に始まりました。特異性と正確さをもって。その預言とは、「国は一瞬にして生まれようか。」

答えは、「はい。」それ以前には起こりませんでしたし、これからも二度と起こらないでしょう。

それは1日で起こりました。国連における1投票で。まさに神が言われた通りに。1948年5月14日に。

では、1967年6月に早送りします。イスラエルが、彼らの永遠の首都エルサレムを奪還しました。1967年。それが本当にスピードアップし始めた時だと思います。

そして今日、イスラエルは今、第三神殿の再建を果たそうとしています。本当に、今にも、です。

しかし、聖書の預言は、それが戦争に続いて来ることを示しています。それが7年間の平和条約をもたらします。

ゼカリヤ第12章1-3節

宣告。イスラエルについての主のことば。——天を張り、地の基を定め、人の霊をその中に造られた方、主の御告げ。——見よ。わたしはエルサレムを、その回りのすべての国々の民をよめめかす杯とする。ユダについてもそうなる。エルサレムの包囲されるときに。[そして、聞いて下さいよ] その日、[3節] わたしはエルサレムを、すべての国々の民にとって重い石とする。すべてそれをつづ者は、ひどく傷を受ける。

別の翻訳では、あなたがエルサレムを分割しようとするれば、エルサレムを分ければ、とあります。

それはわたしの街だ。わたしは文字通り、わたしの名前をエルサレムに置いた。あなたがそれを切り分けようとするれば、わたしはあなたを切り分ける。あなたがそれを分割しようとするば、わたしはあなたを分割する。あなたがそれらの不動の地境の石、それらの重い地境の石を動かそうとするなら・・・

試してごらん。試してごらんなさい。私はその日とは、今日のことだと提案します。それは、このエルサレム・ポストの記事に裏付けられます。

アビグドール・リーベルマンは、イスラエル空軍のノルキン将軍のコメントに言及して、イスラエルは「緊急警備状態」にあると言っています。聞いて下さい。

リーベルマンの発言の引用です。IAF司令官ノルキン将軍は、空中防衛がますます複雑になり、ミサイルやロケットによる脅威に、今や、ドローンや巡行ミサイルが加わり、IDFがデビッド・スリング（ダビデの投石器）と、航空防衛システムを配備していることは、私たちが緊急事態にあることを意味している、と警告する。ヤマ場に達しようとしています。さらに悪いことには、イスラエルの緊急安全保障状況が訪れたのは、最悪の時です。イスラエルは、もはや米国を当てにしたり、頼りにすることはできないと思っています。

タイムズ・オブ・イスラエルによると、ベンジャミン・ネタニヤフ首相は閣僚のグループに対して言いました。少なくとも来年は、米国がイランに対して本格的な行動を取ることを期待するべきではない。

ネタニヤフは、木曜日に、初めてワシントンが行動を起こすのをためらっていることに対し、公に不安を示しました。最近の当局者の発言を繰り返し、オフレコで、イランが次第に大胆さを増していることに触れています。数週間前に、ネタニヤフは、密室会議において、閣僚メンバーに告げました。米国大統領ドナルド・トランプは早くても、2020年11月の米国総選挙まではイランに対して行動しないだろう。良い一日を！待ってください。私たちは選挙まで待たなきゃいけないんですか？来年まで？

選挙と言えば、エルサレムポストが報道しています。これ、信じられますか？ 第3回イスラエルの選挙。前代未聞、こんなの初めてです。それが今、現行の連立協議の行き詰まりのため、可能性が高まっています。誰一人として、第3選挙を望んでいないことを理解することは重要です。そして彼らは、それを避けるために、できる限りのことをしています。今朝、報道されたのは、ナフタリ・ベネットが、再選挙を防ぐために、政敵と話し合いの座につく事を希望しているとの事。さて、これがどのように繰り返されるか、結果はまだ出ていません。しかし、その間に起こっていることを見てください。アメリカ大統領を弾圧したい人がいます。そして、イスラエルの首相を起訴したい人がいます。全てが保留にされています。私は今朝、ここへ来る途中で、このことを考えていました。現在の無秩序状態が、実際に、新世界秩序のきっかけになる可能性があります。もう一度言しましょう。今日の世界における無秩序の現状が刺激となり、その指導者—反キリスト—が、解決策を持って登場する舞台を整えるのかも知れません。この新世界秩序（NWO）、この世界統一秩序、世界統一宗教、世界統一経済、世界統一政府。

私たちが現在、リアルタイムで目にしているように、それも、ものすごい速さで、政府の秩序が崩壊しています。イスラエルだけではありません。私たちは、ここ米国で見えています。こう言わざるを得ないことを、お許しください。これをどのように言えば良いのでしょうか。非常に注意しなければなりません。

何を言うかではなく、言い方が問題なんだと私は学んでいる最中です。妻に聞いてみてください。しかし、私にはこれがめでたく終わるとは思えません。アメリカに起こっていること。申し訳ありませんが、良い状況には見えません。一体全体... そして、私はイスラエルで起こっていることに目を向けます。

そしてこう思います。「あちらも良い状況には見えない。実際、もっとひどいようだ。」しかし、私は立ち止まって、自分に言い聞かせなければなりません。これはまさに神が、終わりの時に起こると、正確に微塵の間違い

もなく言われたことなのです。

もう一つ、最後の記事を紹介します。それは和平案に関係するものです。木曜日のYネットニュースの報道によると、離職する米国特使ジェイソン・グリーンブラットは、アル・アラビーヤ放送局とのインタビューの中で言いました。今は、イスラエルとパレスチナ人のためのトランプ政権のイスラエル和平案の公表に不適切だ。私は「いわゆる」パレスチナ人と言っておきます。「世紀の取引」としても知られるものです。イスラエル政府の連立形成の遅れを考慮した上でのことです。ちょっと好奇心をそそると思いませんか？ あえて疑わしいときえ言いましょうか？ イスラエル首相のネタニヤフとアメリカ合衆国大統領のトランプが両者とも、彼らを排除しようとする、この勢いを増しつつ進行している動きの的になっているんです。奇妙じゃないですか？ 終わりの時に何が起こるかについて聖書で告げられていることとの繋がりが見えますか？

アメリカはどこだ？ 合衆国に何が起こるに違いありません。なぜなら、私たちはちょうどゼカリヤ12章で、地のすべての国々がエルサレムに向かって集まって来ると読んだばかりだからです。「すべて」ということは、「すべて」です。それは合衆国も含まれます。では、アメリカはどうなるのか？ イスラエルの防御に来る者はだれも残されていません。勘違いしないでください。イランですが、彼らが声高に唱えるとき、彼らは実際に唱えるんですが、私がイランと言うとき、それはイラン人、つまりペルシャ人のことを言っているではありません。ところで、よりによってイランでは、大勢の人たちがキリストを信じるようになってきているんです。彼らは救いの知識に至っています。イエスは夢の中で彼らに現れて、ご自身を彼らのキリスト、救い主として明らかにされているんです。彼らは全部込みで、徹底して、イエス・キリストに燃えているんです。イランで。預言的な意味合いで、私がイランと言うのは、アーヤトッラーのことで、私はまた、ロウハニ大統領のことも指しています。イラン・イスラム共和国の指導者たちです。彼らが「アメリカに死を！」そして「イスラエルに死を！」と唱える時、彼らがそうするのは、まずアメリカの死があり、それからイスラエルの死があるからです。一旦アメリカが死ねば、我々はイスラエルを破壊しに行くことができる。ほら、アメリカが大サタンで、イスラエルは小サタンです。これらの欺かれているイスラム政権の目から見れば、彼らはイスラエルを「小サタン」と見なし、アメリカを「大サタン」と見なしています。ですから、補足的に付け加えさせてください。私たちの戦いは血肉によるものではありません。私は言わなくてははいけません。これは、聖霊がかなり強く働かれるのを感じる場合の一つです。時々みなさんが私がこの壇上で、苦勞して、手探りしながらブツブツ言っているのを見る時、私はたいてい聖霊と話をしているんです。というより、聖霊が私に話をしていると言うべきでしょう。私は言うなれば、少しもがいているんです。なぜなら、何かを語るようにと、主が私の心に働きかけておられるのを感じているからです。私はこのことを語るなければなりません。主からのものだと思うからです。もしかしたら、これは今日ここにいる誰かのための言葉かもしれません。もしかしたら、誰かオンライン教会の人のためかもしれません。テサロニケ人への手紙で、それについて話し終わったばかりです。私たちは血肉に対して格闘しません。民主党と共和党、保守派とリベラル派、右派と左派。そして、私は多分自分のためにも言わなければならないんですけど、時々、私は自分がクリスチャンとしてよりも、保守派としての印象を強く与えないように、注意しなければなりません。それは正しい格闘ではありません。正しい戦いではありません。良い戦いではありません。私たちは人と格闘しているではありません。この質問をさせてください。

皆さんは、適切な政党が政権を握ることが私たちの問題を解決すると信じているのですか。本当にそう信じますか？ 本当にそれが答えだと思っているのですか？ 私は敢えて言ってみますが、皆さんのほとんどは、保守的なクリスチャンであり、また自分でもそう認めるでしょう。私はそれらの言葉が好きではないと言ってもいいでしょう。その言外の意味のためです。「保守的なクリスチャン」とは、どういう意味ですか？それは冗長表現ですよ？あなたがクリスチャンなら、あなたはそもそも保守的ですよ？それは敵の術中にまんまと陥ることなんです。私は今、苦戦しているのは分っているのですが、できるだけはっきりとお伝えしようとしているんです。たぶん、思い切って言わないといけなんでしょう。私たちはとにかくお互いに愛し合えませんか？うん、でも彼らは民主党なんだ！ほんとに？主よ。あなたがこの話をせよと仰ったから、そうしてますよ。私はハワイを見て、心の中で「ああ、優しいイエス様」と思います。さて、肉に置いては、つまり私の肉における反応はこんなものです。私がこう言うとき、あなたも私とほぼ同罪なんですから、私をさばかないでくださいね。私の最初の肉の反応はXXXXXXXXX!!! XXXXXXXXXX!!!お分かりですね。

これらの政治家たちをテレビで見ると、自分の耳を信じることができません。な、な、なに？何て？ハワイだ

けでなく、全国です！ カリフォルニアのことを考えてみます。ああ、なんてこった！人々がカリフォルニア州から出て行っていることを知っていますか。カリフォルニアのオンラインメンバーの皆さん、私たちは皆さんを愛しています。皆さんのためにお祈りします。しかし、私はあることを思い起こされて、そのことを主に感謝します。私が思い出すのは、私たちが話したばかりの初期の教会です。彼らは互いのことをとても愛し合ったので、ローマ帝国が彼らの互いに対する愛に注目しました。それはネロ帝の時のことでした。彼はクリスチャンを捕らえて、タールに浸し、生きたまま燃やして、「さあ、世の光よ。あなたの光を輝かせなさい。」と言ったのでした。クリスチャンたちは処刑されました。クリスチャンたちは迫害されました。クリスチャンたちは拷問を受けました。クリスチャンたちは殉教しました。しかし、彼らには親イスラエルの大統領はいませんでした。これは初期の教会です。彼らはピケを貼ったり、抗議運動したり、ロビー活動したりしている姿はありません。彼らがしているのは、祈ることです。これ以上はあまり言いませんが、このことについてもう一つだけ。私たちは学校における祈りのことを話題にしますよね？教会における祈りはどうでしょう？私たちは、公共の場におけるキリスト教のことを話題にしますね？教会における本物のキリスト教はどうでしょうか？私たちはそこから始めてはどうでしょうか？ どうですか？憎しみがたくさんあります。クリスチャンの間でさえも。それは私にとって難しいので、それは私には辛いことなので、もうあんまりソーシャルメディアは使っていません。私たちのためにソーシャルメディアを世話してくれる人々があります。でも、たまに、私はマウスをクリックしてスクロールします。そうしながら、私はとても悲しい気持ちになります。私はこれらの投稿のいくつかを見ます。そして、私には、どうしても、イエスがそんな投稿をするなんて想像することができません。「だけど、あいつら、すぐくりべラルなんだ！」 何を期待してるんですか？失われた人たちが、救われた人たちと同じように振る舞うことを期待するのですか？彼らは新しく生まれていません。彼らには聖霊がいません。ちなみに、彼らはあなたが救われる前に振る舞ったのと同じ振る舞いをしているのです。そうですね？彼らは失われています。彼らはイエスを必要としています。私は最近、神の恵みによって...ただ、ただ、神の恵みによって、この点について、本当に心が変わりました。それで今は、私はただ、この人たちのために祈るんです。なぜなら、彼らはイエスを必要としているからです。彼らはまったく失われています。もし本気で考えてみたら、もし携挙が起こったら、彼らは取り残されるでしょう。イエスは私たちを愛されるのと同じように、彼らを愛しています。そしてイエスは、私たちのために死んでくださったのと同じように、彼らのために死んでくださったのです。彼らはだまされています。だまされているんです。彼らは主を必要としています。そして、私たちは「大義」を掲げて立ち上がります。

もう一つお話があります。あなたが教会に来る理由、あるいは教会に召される理由が三つあります。あなたが教会に行って、教会に出席する三つの理由と言うべきでしょう。

#1.それはコミュニティのためです。悪くないです。

#2.それは目的のためです。あなたには目的があります。

#3. キリストです。コミュニティか、目的か、キリストのどれかです。目的はあるが、キリストを持っていないクリスチャンがあまりにも大勢いると思います。彼らにはキリストの思いがありません。キリストの心が。はい。気分が良くなりました。たぶん皆さんは違うでしょう。でも、まあね...聖書預言を知っている私たちは、混乱や不確実性に揺らぐことはありません。なぜなら、私たちは神の御言葉が、何が起こると言っているかを知っているからです。それは私たちを落ち着かせ、私たちを整え、私たちを安定させます。ここに真理があります。将来の出来事を予告する預言の書かれた宗教的な文章は、他にありません。知ってましたか？ 聖書だけです。そしてそれには理由があります。なぜなら、神がこう言われるからです。「わたしは、何が起こるかを、それが起こる前にあなたがたに知らせよう。わたしが神であることをあなたがたが知るように。」

他の誰もそれを言うことはできません。だから、コーランを読んでも、将来の出来事は預言的に予告されていません。アッラーは神ではないからです。偽りの神です。ムハンマドは偽預言者。ああ、先生、気をつけて。ハラハラハラ...ごめんなさい。つい...

預言者イザヤを通して神の言われることに耳を傾けてください。

イザヤ46章9-10節。

遠い大昔の事を思い出せ。わたしが神である。ほかにはいない。わたしのような神はいない。わたしは、終わりの事を初めから告げ、 [他の誰もそうはしない。私だけがそうするのだ] まだなされていない事を昔から告げ、「わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる。」と言う。

言い換えれば、「わたしは神であり、わたしはそれを証明する。」どうやって？「将来何が起こるかを、事前に伝えることで。」だから、それが起こったら、あなたは言います。

「ちょっと待って。神はそれが起こると言った。そして、その通りになった。と言うことは、彼は正しいし、彼は神であり、彼は真実だ。」

私はイザヤ41章で、神がこれをなさるのが大好きです。すごく粋です。彼は基本的に、これらの偽りの神々を挑発しています。それらは全然神なんかじゃありません。これ、すごくいいんです。たまりません。神が何と言われるか、聞いてください。

「あなたがたの訴えを出せ、と主は仰せられる。」「あなたの訴えを裁判所に持って来て、あなたの訴えを主張しなさい。さあ、どうぞ！どうぞ！」

「あなたがたの証拠を持って来い、とヤコブの王は仰せられる。持って来て、後に起ころうとする事を告げよ。先にあった事は何であったのかを告げよ。そうすれば、われわれもそれに心を留め、また後の事どもを知ることができよう。または、来たるべき事をわたしたちに聞かせよ。後に起ころうとする事を告げよ。」

やってみろよ。いいえ、それは言われませんでした。(私の創作です。)でも、そんな風に言われている感じがします。

「あなたがやってみるのを見たいんだ」「はっはっはっ。できない！！」「後に起ころうとする事を告げよ。そうすれば、われわれは、あなたがたが神であることを知ろう。」

あなたは神じゃない！「良いことでも、悪いことでもしてみよ。そうすれば、われわれは共に見て驚こう。」

エリヤがバアルの預言者たちとコンテストを行った時のことを思い出します。彼らはこの祭壇を組み立てて、祭壇にいけにえを捧げます。彼はバアルの預言者たちに言います。

「さあ、さあ、どうぞ！あなたの神の名を呼んで、この祭壇を燃え尽くしてもらいなさい。」彼らは大声をあげたり、自分の体を切りつけたりしています。エリヤはこれを楽しんでいます。もしかしたらちょっと楽しみ過ぎかもしれません。もっと大きな声を挙げなさい。もしかしたら、あなたの神は耳がよく聞こえないのかもしれない。もしかしたら、あなたの声が聞こえないのかも。そこで、彼らはもっと大きな声で叫びます。おい、まだ聞こえてないぞ。エリヤの発言の内容は、原書のなかにあるんです。

彼は言います。「おそらく、彼はトイレに入っているんだろう。」

I列王記18章です。私のことをそんな風に見ないで下さい。

列王記18章「多分彼はトイレに入ってるんだろう。彼は今忙しいんだ。」これは実質一日中続きます。そして、しまいには、エリヤがこんな風に言うようなものです。「どいてくれ！」「本気か？」エリヤは言います。「いいか？疑問の余地がないように、この祭壇に水をかけてくれ。そして神のなさることを見よ。」彼は主に呼びかけます。ブーン！私は本気で、エリヤは放火魔だったんじゃないかと思うんです。いやいや、本気なんです。でしょう？彼には火と何かがあったんです。彼が火を呼ぶと、それはいけにえを燃え尽くします。彼は火の戦車で天に上ったんですよ。でしょう？神が知っておられたみたいに。

「あなたが火にのめり込んでいるのは分かっている。だから、上って来なさい。火でも何でもやろう。」

彼がイゼベルから逃げている時に、洞窟にいる彼の所に何が来たか知っていますか？彼がバアルの預言者たちを殺した後、イゼベルはこんな感じでした。

「お前を殺してやる。」「私はお前の殺し屋を雇ってある。」彼は逃げて、洞窟に隠れています。神は彼のもとに来て、言います。「エリヤ、ここで何をしてるのだね？」神は、かすかな細い声で語られます。

しかし、そのかすかな細い声に先立って、大きな地震がありました。大きな火がありました。それから激しい風。神はそれらの中にはおられなかったとあります。普通なら、エリヤに分かせようとするなら、火を使わなければならないと考えるでしょう。神は火を使われますが、火を通しては語られません。

まあ、とにかく、それは付け合わせです。追加料金はいただきません。これはまた別の機会のための話題ですが、私はペテロには睡眠障害があったと思います。いや、そうでしょう？ 彼はいつも寝ています。祈っているべき時に。さっきも言ったように、この話はまた別の機会に。では、締めくくりに入りましょう。皆さんの忍耐に感謝しています。これが結論です。神は100%の精密な正確さで私たちに告げられます。何が起ころのかを、それが起ころの前に。それが起ころった時に、私たちが信じるためです。イエスは言われました。

ヨハネ13:19

わたしは、そのことが起ころる前に、今あなたがたに話しておきます。そのことが起ころったときに、わたしがその人であることをあなたがたが信じるためです。

そのようにして知るのだ。わたしはすでにそれが起ころるだろうとあなたがたに言ったのだから。

私たちがさっき読んだゼカリヤ12章の預言ですが、あれは2500年以上も前に書かれたんですよ。

私たちはそれが今、100%の精密な正確さで展開しているのを見ているんです。まさに私たちの目の前で。

これが、私たちが毎週、この預言アップデートを行う理由です。それはまた、私たちが毎週、イエス・キリストの福音で締めくくる理由でもあります。そしてまた、毎週、私たちがシンプルな「救いのABC」をする理由でもあります。どうか、聖餐式の前に、あと数分いただけたら、と思います。

イエス・キリストにおける救いの福音をととても簡単に皆さんと分かち合うために。使徒パウロがコリント人への最初の書簡で書いています。第15章です。彼は言います。

福音とは、イエス・キリストが来られて [一回目]、十字架につけられ、葬られ、3日目によみがえられました。そして、彼はいつかまた戻って来られます。それが良き知らせです。

それが良き知らせです。それが福音です。では、私たちはそれをどうしましょうか。そこで「ABC」の登場です。それは非常に簡単です。子供のような単純さです。イエスは言われました。「もしあなたが天の御国に入りたいなら、あなたは幼い子どものようにならなければならない。」(マタイ18:3)

あの子供のような信仰と信頼です。私たちがこの救いのABCを紹介する時、私は決して誰の知性も侮辱するつもりはありません。ただ単に、それは、どのようにして救われるかを簡単に説明する方法なんです。

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

そしてあなたには救い主が必要であることを。これが悔い改めというものです。考え方を変わるんです。

今や、神は内側からあなたの心を変えることができます。罪に背を向け、罪の赦しを求めて救い主に向かいます。

ローマ 3

10義人はいない。ひとりもない。

すなわち、誰も十分に良い人はいません。あなたは良いかもしれませんが、絶対に十分に良くはなれません。

ローマ 3:23にその理由が書かれています。すべての人は、神からの栄誉を受けることができない。

ローマ 3

23すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず

ローマ 6

23罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。

それが良い知らせで、それは最初の悪い知らせに続きます。それは、私たちが皆罪を犯したので、みんな死刑を

宣告されたということです。それが悪い知らせです。私たちは罪を犯しました。私たちは神の律法を破りました。私たちは神の完璧な義の基準に達しませんでした。それが悪い知らせです。さあ、ここで良い知らせが来ます。神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。

それがAです。今度はBです。B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると

Believe/信じる ローマ10:9-10もう少しです。皆さんの忍耐に感謝します。

ローマ10

9あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。

最後にCです。C：主の御名を Call/呼び求めるConfess/告白する。

または、ローマ10:9-10にあるように、

「もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。」

それが「はずだ」とか「ありえる」とか「かもしれない」とは書かれていないことに注意してください。

「あなたは救われる」と書いてあるのです。ローマ10:13にも同じことが書かれています。

ローマ10

13「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」

それだけです。だから私たちは、この預言アップデートをするのです。と言うのも、この教会に誰が来るか分からないからです。第一礼拝でも第二礼拝でも、どの日曜日でも。誰がオンラインで見ているか分からないからです。もしかしたら、あなたはこれを初めて聞いているのかもしれませんが。そして、あなたはこれを見て、「うわー、全容が分かってきたぞ。これはちょっと、実際、恐ろしいな」と思っているのかもしれませんが。それは良いことです。聖書の預言は、ワクワクさせられるか、ゾッとさせられるかのどちらかです。そして、どちらにしても、それは、あなたと主との関係をよく示すものです。ワクワクするなら、それはあなたが主との正しい関係にあり、主が来られる用意ができていることを意味し、ゾッとすると、あなたは主との関係を正しくする必要があります。私はいつも言いますが、誰かにへつらって地獄に行かせるよりも、怖がらせて天国に行かせたいと思います。私はむしろ、これが誰かを恐れさせることを望みます。それがその人をイエス・キリストの救いの知識に導くのなら。もしもそれがあなたであるなら、私はあなたに懇願します。今日があなたの救いの日です。もしも、あなたがオンラインでご覧になっているのなら、私は、今日、あなたに懇願します。皆さんお立ち下さい。祈ります。賛美チームは来て下さい。続けて残れる方は、どうぞお残り下さい。皆さんの忍耐に感謝します。ちょっと長くなってしまいました。絶対そんなことはしないんですけど。とにかく、聖餐式はおそらく10分間くらいになるでしょう。「くらい」を強調しておきます。しかし、残れる方は、ぜひ、お残りください。祈りましょう。

天のお父様、ありがとうございます。私たちが今日世界で起こっていることを見て、落ち着きをなくしたり、確信をなくしたりしなくてよいことに感謝します。私たちは、あなたが御言葉の中で起こるだろうと言われたことを知っているからです。そして私たちはそれが起こっているのを目にしています。大きな期待をもって見張り、あのラッパの音に耳を澄ましている私たちにとっては、ワクワクすることです。あなたの花嫁、あなたの教会である私たちを迎えに、あなたが戻って来てくださるのを。主よ、早く来てください。私たちは祈ります。主よ。私たちはまた、ある人たちにとっては、これが、非常に不安を招くものであることも痛感しています。それは良いことです。なぜなら、それは起こる必要のある揺さぶりと喚起だからです。ですから主よ。ここにいる人、またはこれを見ている人で、あなたを呼び求めたことがなく、心の中で信じ、口で告白し、自分たちの罪を認め、救い主としてのあなたの必要を認めたことのない人が今日それを行うことを祈ります。聖餐の食卓を共にする前の、何という素晴らしい機会でしょうか。主よ、ありがとうございます。イエスの御名で。アーメン。アーメン。

賛美チームのリードで歌います。皆さんは来て、パンとぶどう酒を受け取ってください。包装済みのものがこの3つのテーブルの上にあります。パンとぶどう酒を持って席にお戻りください。席に着いたら、私たちが一緒にいただけるように、待っていてください。どうぞ来てください。ルカの福音書第22章では、私たちが愛情を込めて「最後の晩餐」と呼ぶものの描写があります。ルカは、聖霊によって、書いています。「さて時間になって、イエスは食卓に着かれ、使徒たちもイエスといっしょに席に着いた。

ルカ22

15 イエスは言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたといっしょに、この過越の食事をするのをどんなに望んでいたことか。

16 あなたがたに言いますが、過越が神の国において成就するまでは、わたしはもはや二度と過越の食事をすることはありません。』

これはまだ将来のことです。子羊の結婚の宴についての話です。

17 そしてイエスは、杯を取り、感謝をささげて後、言われた。「これを取って、互いに分けて飲みなさい。あなたがたに言いますが、今から、神の国が来る時まで、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」

もう一度、言われました。イエスはご自分が十字架に行こうとしていることを知っておられます。彼は十字架につけられ、葬られ、よみがえります。イエスが弟子たちと一緒に食事をするのはこれが最後です。

19 それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行ないなさい。」

パッケージの一番上の蓋を剥がしたら、パンがあります。ちょっと持っていてください。時々、主は聖餐の食卓に関して、私の心に働きかけられるんです。時には、聖餐式の前であったり、時には、賛美の間に。私は主がそんなに待たれるのは好きじゃありません。そして時には、今のように、直前であったりします。皆さんと分かち合うために主が私に働きかけておられると思うのは、このことです。それは私たちがI テサロニケと、I コリントの学びでお話したことに関係しています。パウロはコリントの教会に宛てて、聖餐について書いて、彼らに言います。あなたがたの何人かは、キリストにある兄弟姉妹を不当に扱っているために、あなたがたはふさわしくないままで聖餐にあずかっている。そして神はそのことに気づいておられます。そのために、あなたがたの中には病人がいて、死にかけている者たちまでいるのです。あなたがたが行なっていること、互いの接し方のためです。考えてみてください。私たちは何を祝っているのでしょうか？私たちが祝っているのは、神が世を愛して下さったので、世を愛されたので、そのひとり子を与えて下さったことではないですか？御子を信じる者は誰でも、滅びることがなく、永遠のいのちを与えられることを？互いに対する愛です。人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はだれも持っていません。自分の子どもたちや、孫たちに、「私は自分の命以上にお前たちのことを愛しているよ」と言ったことのある人たちは、どのくらいいるのでしょうか。それは本当です。私はいつも、それに次のことを付け加えます。私が子供のころ、母がいつも私にそう言っていたからです。強いなまりで言ったものです。「ワヒボー」「自分が子を持つまで待ってごらん。」

私は「はい、はい、どうでもいいよ。」それから私は親になりました。今なら分かります。そんなに愛せるなんて、知りませんでした。つまり、自分自身の命以上に。私がそんなに彼らを愛しているなら、どれほどもっと... 天の御父は、私たちが話したあの完璧な愛で、私たちのことを愛して下さるのでしょ

これは、それを表現するものです。これは、私たちに対する神の愛を記念し、祝うものです。彼は人となって、私たちのためにご自身を与えて下さり、私たちのために死んで下さいました。私たちのすべての罪の支払いを完了して下さった。それは愛です。それが私たちが祝っていることです。初期の教会が聖餐を何と呼んでいたか、知っていますか？「愛餐」です。そうです！私が言いたかったことです。

愛餐なんです。愛のごちそうだったんです。コリントにあった問題は、彼らがみんなガツガツ食べて、大食いし

て、ワインを飲んで酔っ払っていたんです。想像できますか？ 私は全然開けるつもりがなかったパンドラの箱をパッキリ開けてしまった気がします。缶の中身を戻そうとしてるんですが、要点はお分かりだと思います。彼らはそれをバカにしていたんです。私が言いたかったのはこのことです。今日私たちがここで祝っているものの重要性です。これらのパンとぶどう酒、私たちが手に持っている象徴。パンは私たちの代わりに、私たちのために裂かれた主の身体象徴です。私たちへの主の愛のために。一緒にいただきましょう。

主よ、本当にありがとうございます。主よ、私たちはあなたに感謝しきれません。あなたが最初に私たちを愛し、私たちがまだ罪びとであった時に、私たちのために死んでくださいました。

主よ、私たちはあなたをととても愛しています。イエス様、私たちはあなたをととても愛しています。

イエス様、本当にありがとうございます。あなたの許しと私たちのすべての罪のきよめをありがとうございます。私たちが贖ってくださいって感謝します。私たちが救ってくださいって感謝します。イエス様、感謝します。ルカは続けて書いています。

20 食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。」

カップをとって、蓋をはがし、またしばらく、持っていてください。私は、その日のことを考えます。私たちが今日、ここで行なっていることを、私たちは主と一緒にいくなうことになるのです。文字通りに。

それが分かりますか？ 今日、私たちがここでいくなうことは、私たちが神の御国で主のそばに座り、主と共にいくなうことの影なんです。主の花嫁として。主のそばで。そして主は二度言われるのです。

「わたしは熱心に待っている」と訳してあるのもありますし、「私はどんなに望んでいることか」「わたしは待ち切れない。」まるで、主が「その日まで指折り数えている」と言っているみたいです。わたしたちが再びこれを行うまで。それがわたしの王国で最終的に成就されるまで。私たちの手にはイエス・キリストの血の象徴であるカップがあります。新しい聖約の血。これはキリストの血であり、一度きりのいけにえです。私たちのすべての罪の赦しのために、私たちの代わりに流されたイエスの血。それがイエス・キリストの血の力です。私たちが飲むにあたって、みなさんに考えてもらいたいのです。

イザヤ1

18たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。

主がそれを洗い、雪のように白くしてくださるのです。主はもはやそれらを覚えてはおられません。

主は、東が西から離れているように、それらを遠く離されます。思い出させないでください！ 祈っている時に、「主よ、あのことは本当にごめんなさい」と言うでしょう？ 「何の話だ？」 「わたしはすでにあなたを赦し、すでに忘れてしまった。わたしはもうそれを東と西から取り除いた。あなたはそれを掴んで持って帰ってきた。」 「またそれを取り除かなければいけない。また忘れないと。」 変ですか？ 本当なんですよ。主はもはや思い出されません。いただきましょう。飲み終わったら、立ってください。

ああ、主よ、私たちにこうすることを与えてくださってありがとうございます。

あなたが私たちのためにしてくださったことを、私たちが覚えているように。

主よ。それは私たちに対するあなたの愛が故です。主よ。もしここに、彼らに対するあなたの愛に本当に疑問を持っている人がいたら、今日あなたが新たにご自身を彼らに明らかにしてくださることを祈ります。彼らにあなたの愛を見せてください。彼らに対するあなたの愛を彼らに明らかにして下さい。

主よ。ありがとうございます。高さも深さも、御使いも権威ある者も、作られたもので、私たちをあなたの愛から引き離すことのできるものは何もないことを感謝します。

主よ。私たちへのあなたの愛を減らすために、私たちにできることは何もないことを感謝します。

主よ、私たちはあなたを愛しています。イエスの御名によって。アーメン。アーメン。

忍耐してくださいって本当にありがとうございます。神があなたを祝福されますように。主にあつて祝福された一

週間を過ごしてください。主のみこころであれば、火曜日の夜に、祈り会で会いましょう。7時に。ここで。火曜日の夜です。

メッセージby JD Farag

牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記hukuinn7